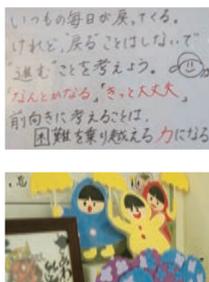


動き出した 学校生活

約3か月の臨時休業を経て再開した、学校の様子をお伝えします。

新型コロナウイルスという見えない敵との戦いは、私たちの生活のほとんどを変えてしまいました。「当たり前」にあつた日常が当たり前では無くなること。たくさんの時間が奪われ、音のない学校となりました。

感染の流行が落ち着き、段階を経てやっとの思いで再開した学校。マスクの着用、席を離しての授業、前向きで食べる給食など、これまでの風景とは様変わりする中でも、子どもたちは前を向き、今やるべきことに一生懸命に取り組んでいます。そして、その気持ちをおくみながら、子どもたちにも優しく寄り添う先生たち。子どもたちの輝く笑顔を守るために、今できることを着実に——一歩ずつ進んでいこう。





学校の声を聞く

友達と会えない生活はとにかく寂しかった…

みんなと会えないことや、宿題につまずいたときにすぐに先生に聞けずどうしたらいいんだろう…と不安が大きかったです。学校が始まり、友達と話ができることがとてもうれしく感じました。学校に慣れるまでは大変だったけれど、みんなと過ごす学校生活が楽しいです。

“子どもたちがあってこそその学校”だと改めて感じました

突然の臨時休業で、子どもたちに会えなくなるだけでなく、オンラインスタディの準備など、慣れない作業に手いっぱい。子どもたちの生活リズムは崩れていないかなど、心配は尽きませんでした。学校が再開し、子どもたちの笑顔が徐々に戻る中、子どもたちの存在の大きさを改めて感じました。



舟石川小学校
6年
品川 蘭丸さん

舟石川小学校
6年2組担任
雨谷 英樹先生

